

5月報(2022年) 萌 カトリック福山教会



福山教会活動テーマ：

「喜びをもっていのちをもたらす福音を社会に伝えよう」

〒720-0808 福山市昭和町 7-26

☎【084】923-0614 FAX【084】923-0615

e-mail : fuku-ch@ktd.biglobe.ne.jp

5月 聖母月とロザリオの信心

聖母月

さつきのきさきを

カトリック聖歌集 #351



さ つ きの き さ き を あ め つ ち う



た う ひ と と せ め ぐ り て ゆ



り さ く き せ つ マ リ ア し ゅ く



し ま せ し ゅ く せ ら れ ま せ



*5月は聖母月です。聖母月の信心は近世からのもので、18世紀のイタリアで盛んとなりました。この5月は、四季折々の中で春の訪れとともに自然界の実りをもっとも感じさせてくれ、また主の復活の喜びと希望に満ちた月でもあります。

*ロザリオは天使による喜ばしいあいさつとおとめの敬虔に満ちた承諾から始まって、福音からインスピレーションを受けて、信者がそれを唱えるべき態度を示唆しています。

アヴェ・マリアの祈りを繰り返して唱え続けてゆくことによって、ロザリオはわたしたちに今一度福音における基本的な神秘であるみことばの受肉を提示してくれます。マリアはこの神秘をお告げという決定的な瞬間において黙想したのでした。このようにして、ロザリオは過去におけるよりもおそらく今日において、司牧担当者や神学者たちが好んで定義するように、「福音の祈り」であるといえるのです。」

4/16【聖土曜日】復活徹夜祭の典礼と共に洗礼式がありました。

日本人、ベトナム人6人が受洗しました。おめでとうございます！

受洗された山口美代子さんからです



この度、洗礼を受けさせてもらい盛大な復活祭にも感動しました。準備等大変だったこととおもいます。ありがとうございます。洗礼名はアナスタシアとつけさせてもらいました。

私は11月2日生まれで、その日は死者の日。そこから名前はやってきました。今まで生きて来て、色んな辛かった想いや、時に絶望的になり、そして少しの希望を感じたり。そうゆうことも含めこれからまたあらたに想いを感じながら、また人生の道のりを進みます。

アナスタシアの名前の由来[復活]であったり[立ち上がる]と言われていて、その気持ちを心に抱きながら生きていようとおもいます。猪口神父さま関わってくださった教会の皆様 本当にありがとうございます。心からお礼申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いします。



4/17【ご復活祭】

☆ダン神父様の送別会と日曜学校入学式

ダン神父様に最後のお話と聖歌を歌って頂きました。フィリピン特有の豚を丸焼きにして食べるレチョンでお祝いしました。



2人の新一年生

4/24 【白衣の主日】

日曜学校の3人が初聖体を受けました。おめでとう！



5/8 【朴根培(パククンベ)神父様 初ミサ&歓迎の集い】

朴神父さまが福山と尾道の助任司祭として着任。初ミサをされ、9時ミサ中に歓迎の集いがありました。責任チームの梅田さんが挨拶をされ、神父さまもお言葉をくださいました。神父さまは、福山教会にとって、初めての韓国出身司祭になりました。



使徒ヨハネ 朴根培神父様プロフィール

- 2020. 2. 11 観音町教会で、助祭叙階
- 2021. 3. 20 白浜満司教により、三宅助祭と共に司祭叙階。
 - 4. 徳山・下松教会助任
- 2022. 4. 福山・尾道教会助任

南相馬便り④ 2022年4月 援助マリア修道会南相馬修道院 北村令子



新しい年度を、希望のうちに始められたことでしょう。相変わらずのコロナ禍の中にあっても、幼い子供たち、若い人々にとって、二度と繰り返すことのできない大事な時ですから、大きな夢と希望を持ちたいものです。持っていたきたいものです。いえ、若い人だけでなく、すべての人にとっても、今の一瞬一瞬が、掛け替えのない時なのですから。

3月10日、「命の行進」(千葉県妙法寺の方が中心で毎年3.11の前日に、南無妙法蓮華經を唱えながら津波などで亡くなった方の供養をする行進がおこなわれています。)私も今年参加いたしました。同慶寺から「南無妙法蓮華經トントン」と太鼓の音に合わせて行進します。

津波で大きな被害を受けた小高区内の塚原地区の慰霊碑で祈り、地域全部が流され壊滅的な被害を被った村上海岸



で、同慶寺の徳雲住職さんがひれ伏し(写真)海に入ってお経をあげられました。私は砂浜までの崖が危険なので、防潮堤から心を合わせて祈りました。村上霊園・貴布根神社から海岸通りを歩いて浪江まで行かれるのですが、私は貴布根神社で終わらせていただいて、午前中で引き揚げさせていただきました。防潮堤の上を歩きながら、左に太平洋のドドーンと言う波の音を聴きながら、右に果てしなく続く荒れ地を見て、ここで多くの人が波にさらわれたことを思うと涙が流れました。3時間半の行進で大震災で亡くなった方々、人生を一変させられ、今も苦しみを抱えて生きている多くの人々のために一步一步祈りました。



ところで3.11も大きな災害の記憶すべき日ですが、ここ、相双地区：南相馬市(鹿島区、原町区、小高区)、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町：では、3.11と同じくらいに3.15を大切に祈念します。それは地震と津波の被害より、東京電力福島第一原発の爆発事故による被害の大きさによって、この地域が壊滅的なダメージを受けたからです。

3月12日 15:36、 1号機水素爆発 第一原発から3km圏内避難指示
 3月13日 次々と避難指示範囲の拡大、20km圏内避難指示
 3月14日 11:01、 3号機水素爆発
 3月15日 0時ごろ 2号機事故、大量放射性物質の拡散
 6:00、4号機水素爆発(広島・長崎の原爆の原子雲のようだったとか)、
 20~30km圏内屋内退避指示、30km圏内に物流ストップ。
 深刻な物不足食糧不足に見舞われる。

当時、菅政権のもと、枝野官房長官の目まぐるしく変わる指示に、混乱の極みの状況が思い出されます。広島、長崎のような直接被曝と言うより、放射能の見えない脅威にさらされた人々の恐怖と、同国人による差別の苦しみ、絶望の中での自死等々を思うと、本当に心が引き裂かれるような痛みを覚えます。そしてそれは今もまだ続いているのです。風評被害然り、故郷に帰りたくても帰れない現実、放射能被害のため、すぐ探せなかった子供、親、親族の遺体を、今もまだまだ探しておられる人々。この間、目にした記事に、お父さんが自宅跡の近くを掘っていたところ、人骨が見つかって、娘のすねの骨だとすぐわかったそうです。首の骨と歯が見つかったところだとのこと。なぜ今まで見つからなかったのか不思議なのですが、お父さんは全部のお骨が見つかるまで、心の安らぎはないと。

3.11は同慶寺合同慰霊。カリタス南相馬は、3月11日と3月15日、この状況の下で、密を避けるため、いろいろな行事がストップし、信者も集まることができない中、参加できない多くの人々の思いも心に抱きながら、原町教会で静かに心を込めて、ミサを捧げました。



原発被害にあった小高はチェルノブイリの人々から精神的にも大きな支援を受けたとのことで、今回のロシアによる苦難に対して、特別にウクライナの人々への支援を表そうと、小高駅近くの双葉屋旅館の女将が発起人で、旅館の駐車場にあるコンテナをウクライナの国旗色にペンキ塗りのイベントがありました。私も参加させていただきました。もともとブルーと緑色に塗ってあったのですが、菜の花の黄色(希望色)に塗ってウクライナ色にしました。菜の花は菜種油を取るために小高でたくさん栽培されています。菜の花の葉や茎には放射能が含まれるのですが、何か種には放射能を含まないことから、菜種油(ユナちゃん)を小高の特産品としています(双葉屋さんで扱っています)。今日はここまで。平和への祈りを込めて!

5・6月の行事予定

5 月		6 月	
1(日)	墓地ミサ(雨天 5/8)	5(日)	聖霊降臨
3(火)	乙女峠祭り(動画配信)	12(日)	三位一体の主日
7(土)	備後協働体幹事会	19(日)	キリストの聖体
8(日)	広島地区宣教司牧評議会(オンライン)	23(木)	洗礼者聖ヨハネの誕生
15(日)	信徒総会	24(金)	イエスのみ心
22(日)	尾道マリア祭	29(水)	聖ペトロ 聖パウロ使徒
28(土)	広島地区召命祈りの集い(祇園)		
29(日)	主の被昇天 日曜学校歓迎遠足 仙養が原		
30(月)	広島教区司祭黙想会 6/4迄		

青葉若葉、山笑う候。主の復活を祝う好季節。福山は、バラ祭りでにぎわう。教会は、2年ぶりに信徒総会が開かれる事になりました。新しい神父さまをお迎えして、心機一転2022年度が動き出しました。ウィズコロナに負けないで、工夫と忍耐、創造の日々を創り出して行きましょう。(N.T.)

月報委員会

